



F-Plus Inc.

熟達者知見の可視化

説明資料

株式会社F-Plus
Engineering Sec.

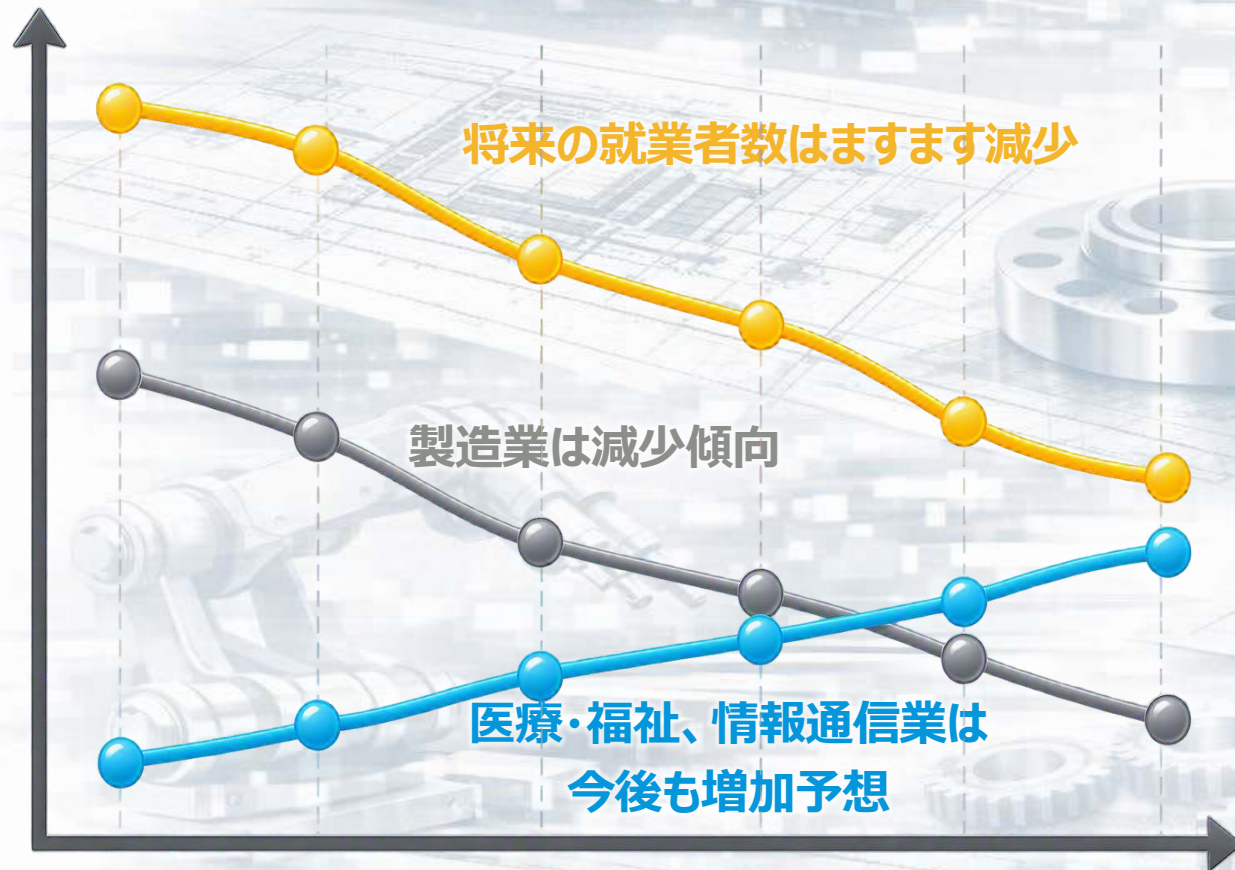


熟達者知見の可視化

将来の働き手は確保できるか？



～減少する労働人口と激化する獲得競争～



人口が減少する中、製造業における
「働き手」の確保は年々困難に

限られたリソースでいかに生産体制を
維持・強化するかが死活問題となって
います

現場に潜む危機：「技術伝承あるある」が招く事業リスク



作業標準書の記載内容が曖昧で不十分
(具体的な作業の仕方、勘どころ、コツがない)

**先輩が持っているノウハウが
共有されていない**

教育の仕組みが無い
(企業目標と教育計画の乖離)

**製品品質の低下
競争力の低下
製品コストの悪化**

**製品の安定供給
ができない**

ノウハウ：技術は「個人のもの」ではない



「技術は個人ではなく、**会社全体で所有**する資産です！」

暗黙知を形式知化し、**技術喪失**を防ぐ

頭の中にある知識・経験・ノウハウ
(暗黙知) を、説明書や手順書など
共有できる形 (形式知) へ変換する

技術力は自社の競争力
価値を高める**最大の資産**である

「見えない知」を解き明かす：暗黙知から形式知への変換



Before: ベテランの階黙知

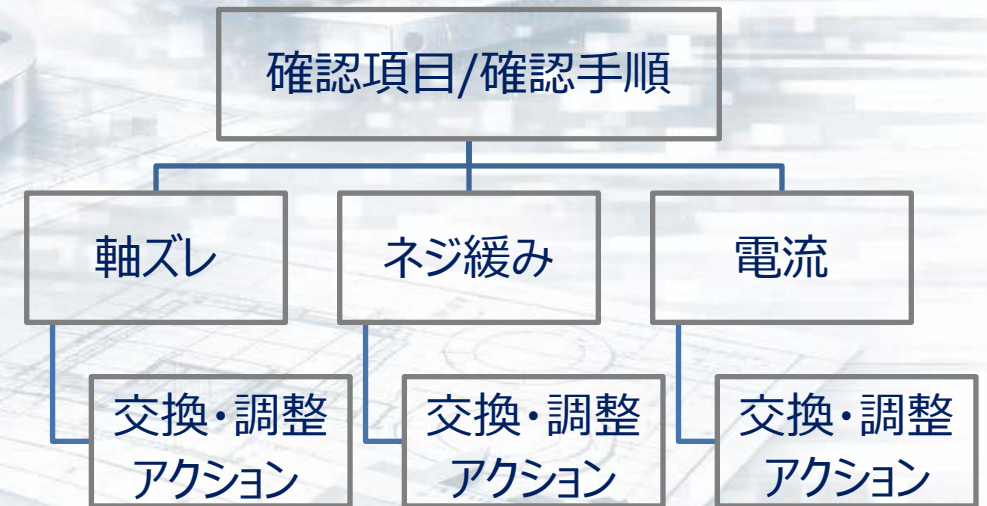
「モーター異音」に対する感覚的判断

職人の間隔的判断をそのまま言語化しようとするため、基準が曖昧で他者が再現できず、伝承が失敗する



After: 会社資産としての形式知

誰でも同じ判断・対応が可能な仕組み
感覚を「確認項目」と「アクション」のロジックツリーに変換し。現場の再現性を100%に近づける



「個人の感覚」を「組織の理論」へ！

ベテランの五感による判断プロセスを言語化・数値化し、誰もか再現可能な基準へと昇華させます
属人化から脱却は、製造現場の「サステナビリティ」である！

属人化から脱却する「支援の4ステップ」



1. 現状の把握
目標設定

2. 経験者スキルの
可視化

3. 計画 / 準備

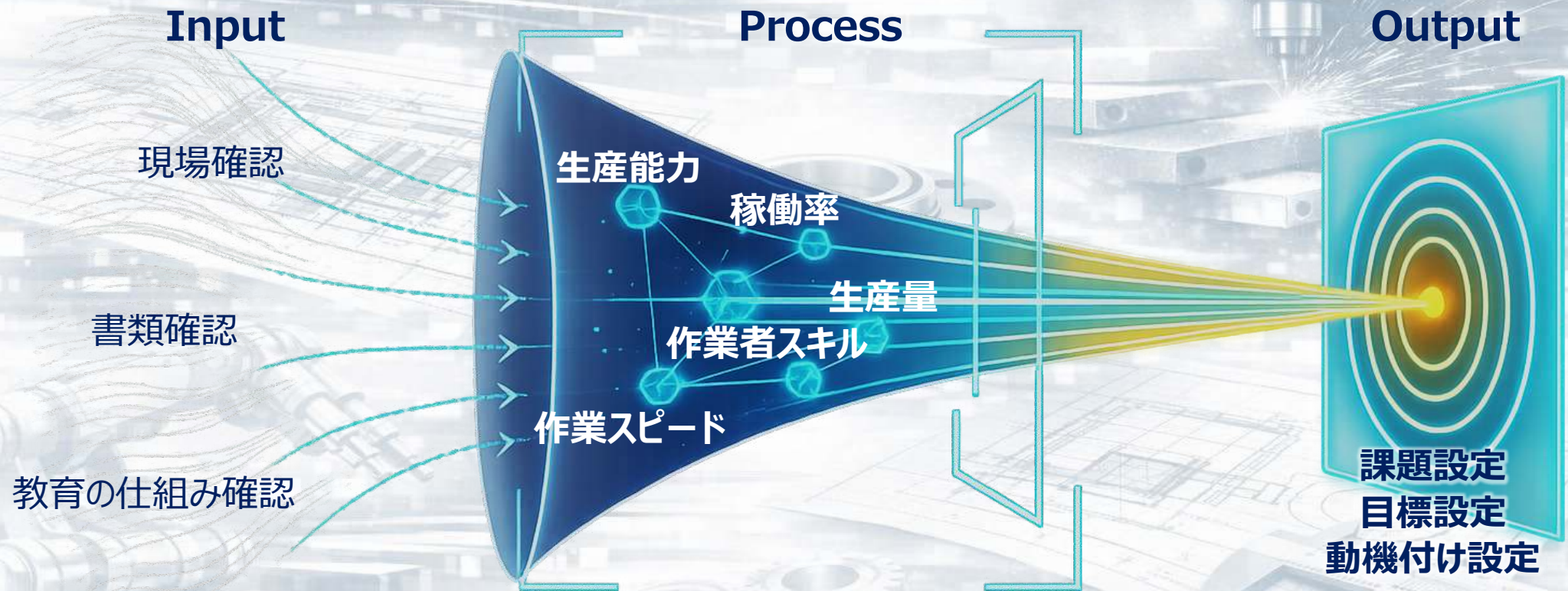
4. 実施 / 継続

「最終的には、自社内で作り上げた仕組みを永続的に実行していくことを視野に入れ、支援を進めます」

Step 1 : 現状の把握と目標設定



「何のために行うか?」「目標は何か?」を明確にする!



課題の内容

品質のばらつき、不安定、ベテランの退職、若手が育たない、配置の柔軟性

Step 2 : 経験者スキルの可視化（暗黙知の抽出）



ヒアリング、ビデオ撮影、作業分析を
通じて「カン・コツ」を抽出。

作業標準書には書かれない
「NGポイント」や「注意点」の明確化。

Step 3 : 計画と準備（スキルマップによる現在値の把握）



Skill Map

	原材料準備	原材料準備	原材料準備	原材料準備	原材料準備	原材料準備
山田太郎	L4	L3	L4	L2	L4	L4
佐藤花子	L2	L2	L3	L1	L3	L2
鈴木一郎	L2	L2	L2	L1	L2	L2
田中健太	L1	L1	L2	L1	L2	L1
伊東美咲	L1	L1	L4	L1	L2	L1

L1 : 指導を受けながらであればできる

L2 : 手順書を見ながら1人でできる

L3 : 作業を理解し1人でできる

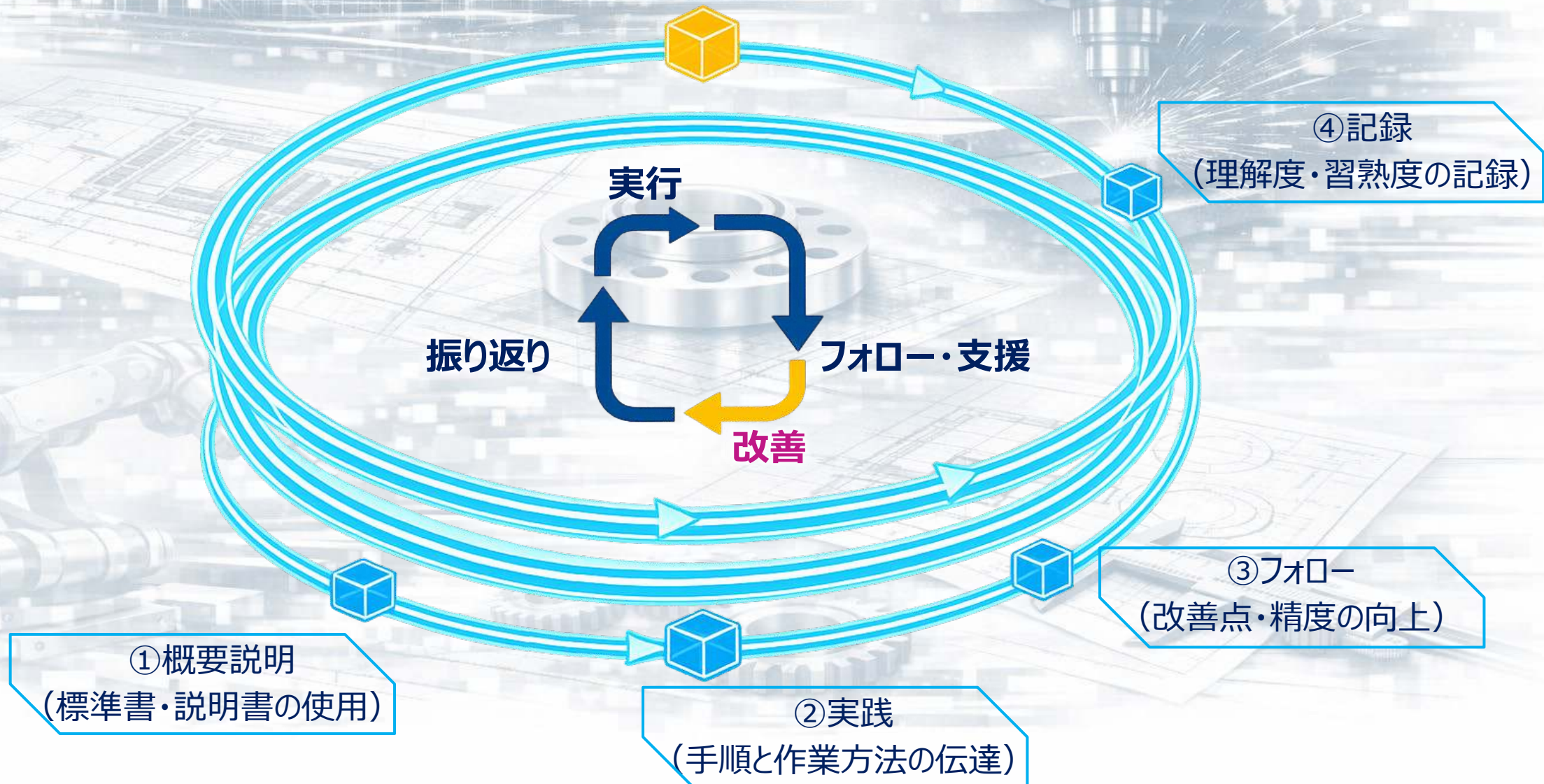
L4 : 作業を熟知し、教えることができる

全工程で、一定品質レベルで対応できる作業者が少ない工程を優先的に教育
「先生」と「生徒」、そして「判定日」を明確にしたスケジュール策定

Step 4 : 実施と継続（スパイラルアップする教育サイクル）



⑤ 判定・認定（一人前としての認定）



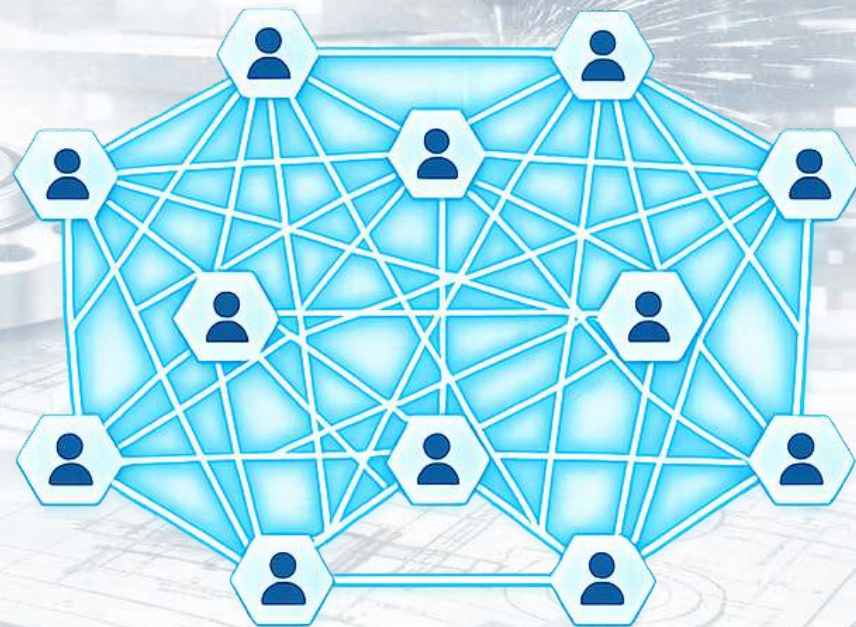
到達点：多能工化による「強靱で柔軟な生産体制」の構築



非多能工の断絶したネットワーク



多能工の接続されたネットワーク



【管理者側のメリット】

- ・ 作業配置計画の柔軟性向上、生産計画の変動への対応、緊急対応時の備え

【作業側側のメリット】

- ・ 作業モチベーション向上、待遇の向上、教え難い部分の明確化

組織全体で目的を共有する仕組み：多能工化のOKR事例



誰でも、どの工程でも対応出来るようにする（参加者全員をLv.3 or Lv.4 にする）

多能工化率平均 50%（2024.07時点:18%からの引き上げ）

Aさん：多能工化率
70% (Lv.4)

Bさん：XXX%

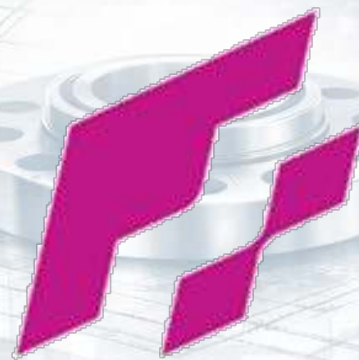
Cさん：XXX%

FY2023：25%

FY2024：40%

2025年までに達成

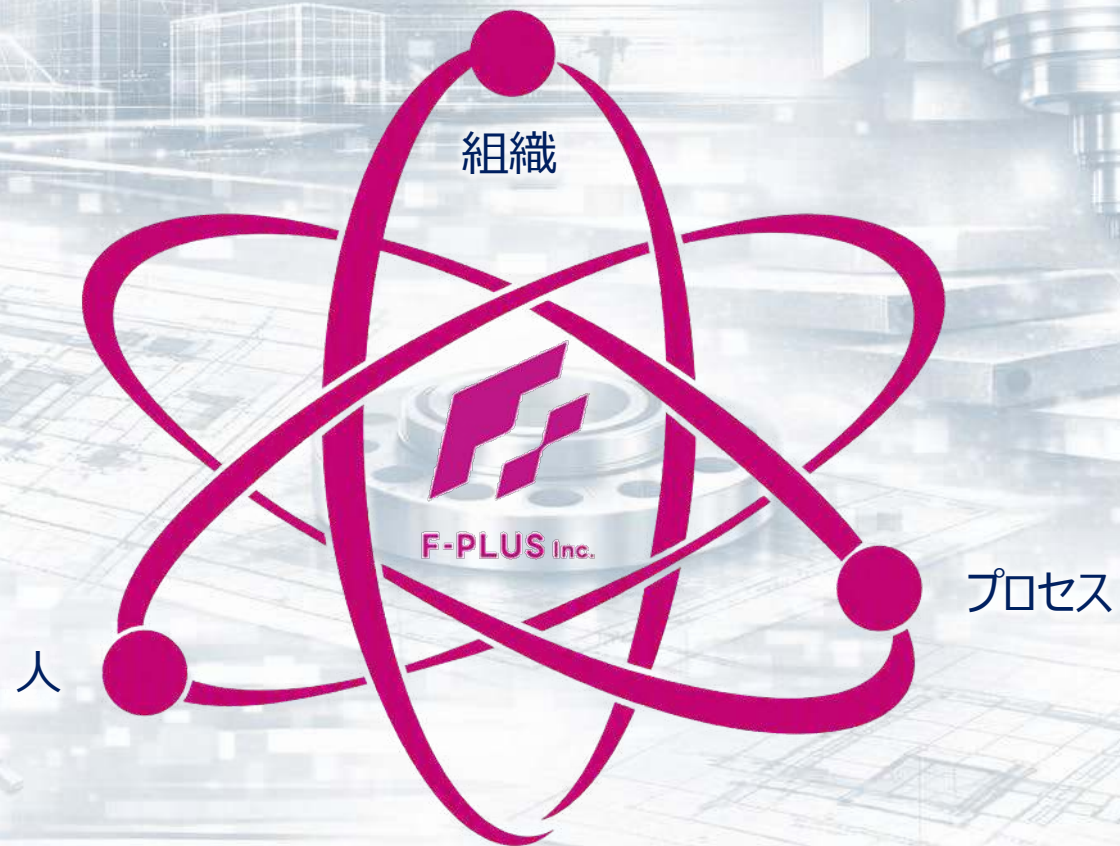
【技術伝承（教育）は単なるイベントではありません】 「永続的な『仕組み作り』です」



F-PLUS Inc.

属人化の危機を乗り越え、多能工化による強靱な組織へ！
知識を企業の資産に変える変革を、ここから始めましょう！

「あるべき姿」を、現場の実現に！



戦略を美しいレポートに描くだけで終わらせない！

F-Plus は、お客様の現場に入り込み、「泥臭い課題の抽出」・「プロセスの再構築」・「人材の育成」そして圧倒的な費用対効果と、成果創出の最後まで共に走り抜ける真のパートナーです！

詳しいお話や、悩み事はホームページの「お問い合わせ」または、以下へお問い合わせください

info@f-p.tokyo

End of File



Enjoy your Monozukuri !